

# 新しい プラチナ ファンド

日本で投資の選択が拡大

楽天証券はプラチナに対する新たな投資方法として楽天・プラチナファンドを設立した。

これは日本の貴金属投資市場における重要な発展であり、プラチナ投資を求める投資家にとっては利便性が高く税制面も有利な手段の登場となった。

楽天・プラチナファンドは追加型投資信託でファンド・オブ・ファンズ方式を取る。

プラチナの現物を直接保有するのではなく、Aberdeen Standard Physical Platinum Shares ETF (PPLT) や iShares Physical Platinum ETC (iPLT) など、プラチナ現物が原資で既に実績のある上場投資信託 (ETF) に投資するマザーファンドを通じて間接的にプラチナに投資する。

この仕組みによって現物保有特有の物流上の要件を気にすることなく、プラチナのパフォーマンスに基づくりターンを狙うことができる。

楽天・プラチナファンドは原則として為替ヘッジを行わず、投資家は世界のプラチナ価格の中で変動する円建てプラチナ価格に直接影響を受ける。信託期限は無期限、信託金の限度額は1千億円(最低額は10億円)、日々売買可能だ。

このファンドが投資家の強い関心を集める大きな注目点は、少額投資非課税制度(NISA)の対象であることだ。英国の個人貯蓄口座(ISA)をモデルとして作られたNISAは、上限投資額内ならば配当金や譲渡益は無期限に非課税だ。

NISAの対象となる楽天・プラチナファンドが貴金属投資を考えている個人投資家にとって、新たに登場した魅力的な手段といえる所以だ。

## 関心の高まり

今回の新ファンドの設定時期は、世界的にコモディティーに対する投資の関心が高まっているタイミングと重なる。



2025年の世界のプラチナETFの残高はネットベースで7.3トン増加(ただし上記の図は参照値)

新ファンドの登場は日本の貴金属投資市場に欠けている分野を埋めるものでもあり、これがきっかけとなって日本の他の証券会社でもプラチナや貴金属をテーマとした同様のファンドが登場する可能性もある。そうなれば日本の投資商品市場はより一層と充実したものになるだろう。

2025年の世界のプラチナ ETF の保有高は、プラチナ価格がレンジ枠をついに突破し、良好なファンダメンタルズやゴールドに対する割安感などを背景に、ネットベースで 7.3トン増えた。

Contacts:

Vicki Barker, Investor Communications, [vbarker@platinuminvestment.com](mailto:vbarker@platinuminvestment.com)

Edward Sterck, Research, [esterck@platinuminvestment.com](mailto:esterck@platinuminvestment.com)

Brendan Clifford, Institutional Distribution, [bclifford@platinuminvestment.com](mailto:bclifford@platinuminvestment.com)

**WPIC Japan** [Japan@platinuminvestment.com](mailto:Japan@platinuminvestment.com)

Ziyang ZENG (Sophia), CFA

APAC Lead, Product Partnership, [szeng@platinuminvestment.com](mailto:szeng@platinuminvestment.com)



免責条項: © 2026 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び略称WPICは、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複製、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照: <http://www.platinuminvestment.com> 当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。